

1. 大会と情報交換会の参加者人数 (2025.11.08)

	大会					情報交換会				
	一般	学生	名誉会員	無料対象者	招待など	一般	学生	名誉会員	招待など	
			米虫、袖	寄贈ワイン、	アメリカ招			米虫、袖山、	アメリカ招待	
個人会員（専門）	34	0	1	3	0	32	0	1	0	
個人会員（一般）	52	8	4	3	0	46	6	2		
産業会員	42			7	0	24				
非会員	46	6		1	3	25	6		2	
合計（人）	174	14	5	14	3	127	12	3	2	
総合計（人）	210					144				

※当日参加申込24名

2. 特別講演セミナー

タイトル	「Dialing In Disease Management: How Weather and Vine Development Impacts Moldes and Molds (病害管理の最適化：天候とブドウ樹の生育がカビ類に及ぼす影響)」
発表者	Michelle M. Moyer
所属	Washington State University

3. セミナーの参加者人数

演題1.	タイトル	「Elevating Japanese Wine Tourism: A Sustainable Future
	発表者	Natalia Velikova
	所属	Texas Tech University, Texas Wine Marketing Research Institute
シンポジウム	タイトル	ASEV JAPAN Chapter 40 年を振り返るシンポジウム
		パネリスト 米虫節夫・松本信彦・上野 昇・袖山・松土俊秀
		ファシリテーター 味村興成

参加者	110	対面参加者数
-----	-----	--------

4. 総会の参加者人数

対面開催あり。総会資料はWebにて後日閲覧するようにした（事前に総会案内と閲覧用パスワードを郵送）。
事前に総会決議の委任用のはがきを郵送し、返信してもらう形で委任状数を回収した。
総会

参加者		86	会場でカウント
委任状	信任	115	
	不信任	0	
	未記入	0	
合計		201	

5. 評議会

対面開催なしでメール会議とした（委任状はなし）。
評議会資料はメールで送付した
構成人数

出席数	39	構成人数
欠席連絡、委任状	0	
連絡なし	0	

6. 大会発表賞

口頭	タイトル	山梨県内で栽培されている‘Petit Verdot’および‘Tannat’のアントシアニン化合物の比較解析
	発表者	○井上絵梨・奥田 徹・岸本宗和
	所属	（山梨大学ワイン科学研究センター）
ポスター	タイトル	メルローワイン中の産膜抑制成分の検討
	発表者	○関谷彩侑菜 1・村松俊哉 1・後藤理那 1・中川洋史 2・岸本宗和 1・久本雅嗣 1・奥田 徹 1・渡辺（斉藤）史恵 1
	所属	（1山梨大学ワイン科学研究センター・2山梨大学大学院総合研究部）

7. 企業展示

5社	きた産業株式会社
	京都電子工業株式会社
	シンワフーズケミカル株式会社
	セティ株式会社
	フォス・ジャパン株式会社

8. その他 問題点や改善点など

参加費の事前支払い者は約79%でした。受付の手間がかなり軽減できました。

大会申込はないが、参加費の振込だけ行われるケースが多数あった

機関や会社がまとめて参加費支払いをされる場合、大会申込者の人数と支払い金額が合わなく問合せすることが何件かあった

申込済みの人と見申込の人が混在していたのが原因だった

クレジット決済の場合、参加者名と支払いのクレジットカード名が異なり、照合に手間を要するケースが多数あった

情報交換会の料理は100名で注文したが、実際の参加者は144名であった（子供含まない）。

この量でも、足りなくなることなく、余り過ぎず、丁度良かった